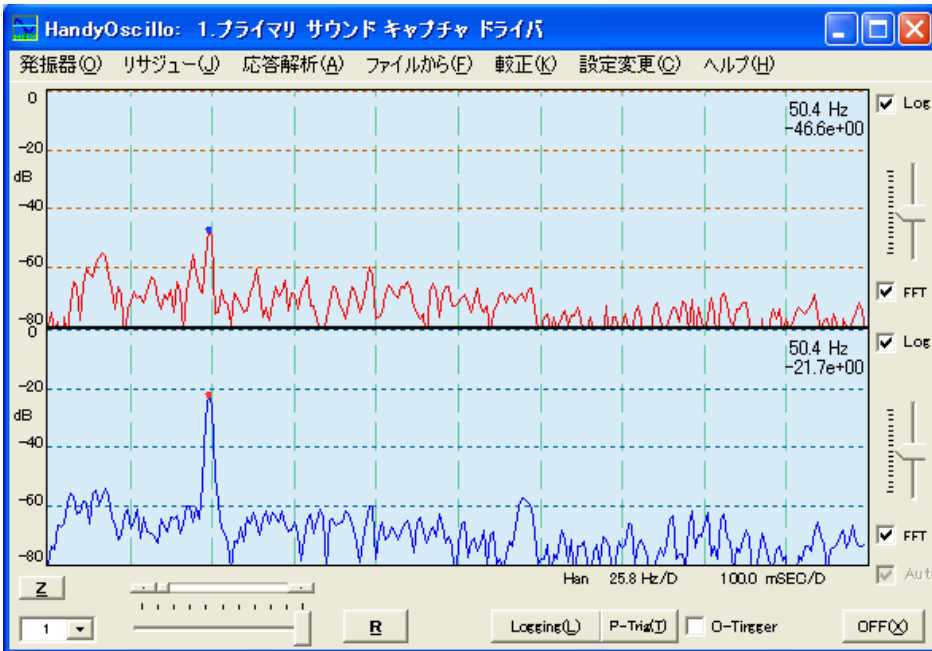


## じしんカンの能力

じしんカンは振動する物体の微振動を定在波として印加することで機能を発揮します。

日本全国、どこにいても屋内で 24 時間稼動している機器として冷蔵庫の上に載せることを想定しています。

試作品で計測した簡易オシロスコープのウィンドウをご覧ください。



冷蔵庫の天板に  
直接マイクを向けて  
計測したスペクトル

冷蔵庫の天板に  
じしんカンを乗せて  
計測したスペクトル

上記のグラフは冷蔵庫のモーターが稼動中の周波数ごとの音圧レベルを表示しています。

レベルのピークをとっている周波数は開発を行った東日本の電源周波数にほぼ一致しています。

そのピークのレベル差は 20dB あり、マイクが発生する電流のエネルギーにして 100 倍の利得があります。

じしんカンの原理であるヘルムホルツ共鳴器の応用機器は普通がっちりとした吸音器やスピーカーですが、

じしんカンは敢えてペラペラのブリキを使うことで、筐体を共振させて高利得で定在波を抽出します。

じしんカンが持っている能力は実はここまでです。

ここからはご使用される主体者の観察と設置環境によります。

その概要は・・・

異常な高エネルギーの低周波音が発生すると建物をとおして部屋の中にも到達します。

するとじしんカンのダクトから抽出された定在波と共鳴し、周波数の差分の唸りを発生します。

そして、それを聞き分けるのは毎日観察を続けることです。

開発:ingenious farm 代表者:岩坂 一尋

URL:<http://www.ingenious-farm.jp/>